

調査結果概況 [国語]

横浜市立生麦中学校－生徒

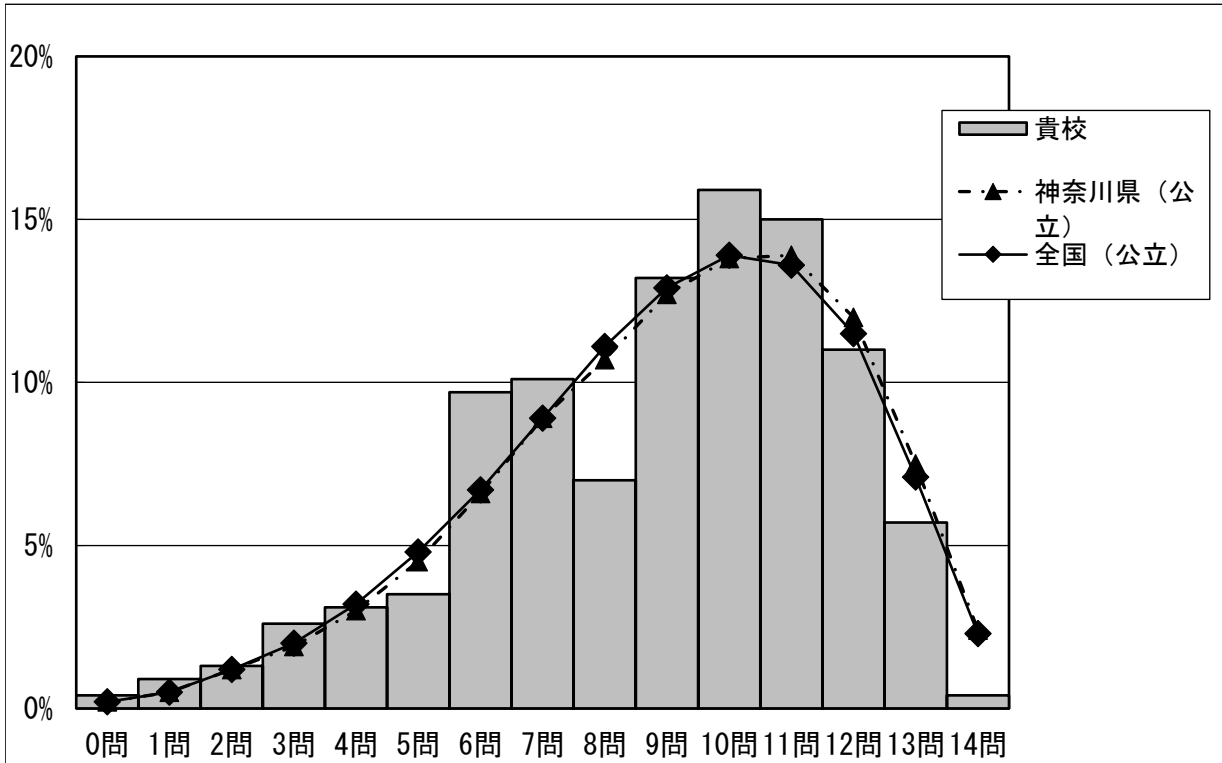
・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立生麦中学校	227	8.8 / 14	63	9.0	2.8
神奈川県(公立)	58,956	9.1 / 14	65	9.0	2.8
全国(公立)	903,157	9.0 / 14	64.6	9.0	2.8

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



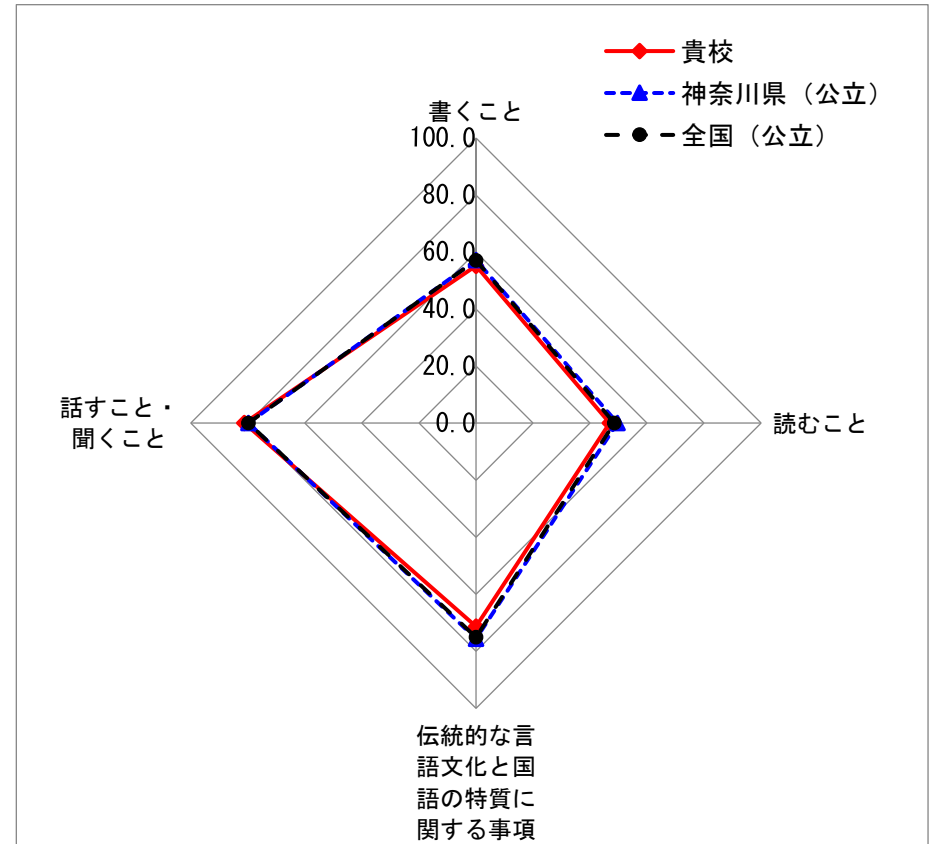
正答数集計値				
正答数	生徒数	割合(%)		
	貴校	貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
14問	1	0.4	2.4	2.3
13問	13	5.7	7.5	7.1
12問	25	11.0	12.0	11.5
11問	34	15.0	13.9	13.6
10問	36	15.9	13.8	13.9
9問	30	13.2	12.7	12.9
8問	16	7.0	10.7	11.1
7問	23	10.1	8.9	8.9
6問	22	9.7	6.6	6.7
5問	8	3.5	4.5	4.8
4問	7	3.1	3.0	3.2
3問	6	2.6	1.9	2.0
2問	3	1.3	1.2	1.2
1問	2	0.9	0.5	0.5
0問	1	0.4	0.2	0.2

集計結果

対象生徒数	横浜市立生麦中学校	神奈川県（公立）	全国（公立）
	227	58,956	903,157

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県（公立）	全国（公立）
全体		14	63	65	64.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	23.0	79.8	79.8
	書くこと	3	55.2	57.2	57.1
	読むこと	4	46.9	49.6	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特	4	71.3	75.6	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	54.5	56.1	56.0
	話す・聞く能力	3	81.2	79.8	79.8
	書く能力	3	55.2	57.2	57.1
	読む能力	4	46.9	49.6	48.5
	言語についての知識・理解・	4	71.3	75.6	75.1
問題形式	選択式	6	63.4	64.7	63.9
	短答式	4	70.8	74.8	74.4
	記述式	4	54.5	56.1	56.0

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)				
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と	国語への関心・意欲	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識	選択式	短答式	記述式	貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)	貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1オ										○			93.8	89.8	89.7	0.4	0.2	0.2
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ													92.1	92.5	92.5	0.9	0.3	0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	1オ											○		57.7	57.0	57.1	7.9	3.3	3.4
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く		2エ												26.9	25.3	24.8	0.9	0.3	0.3
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える		2オ											○	68.7	73.7	74.5	10.1	8.6	8.5
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア											43.6	45.7	43.7	0.9	0.4	0.4
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ											53.7	59.6	58.7	1.3	0.4	0.4

※太字かつ下線付きの箇所の類型が、正答を表す。

1段目：学校の生徒数の割合(%) 2段目：都道府県(公立)の生徒数の割合(%)
3段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

問題番号	問題の概要	解答類型					
		1	2	3	4	99	無解答
1ー	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものと、 して適切なものを選択する	2.6	93.8	0.9	2.2	0.0	0.4
		4.2	89.8	1.9	3.8	0.0	0.2
		4.2	89.7	2.0	3.9	0.0	0.2

○話し合いの話題や方向を捉える問題【1ー】の正答率が、全国平均を約4ポイント上回っていることから、聞く能力が高いと考えられる。

問題番号	問題の概要	解答類型				
		1	2	3	99	無解答
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	68.7	12.8	2.2	6.2	10.1
		73.7	10.6	2.2	4.9	8.6
		74.5	9.8	2.6	4.6	8.5

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 【意見文の下書き】の構成にどのような工夫があるのかが分かるように書いている。
- ② 複数の段落に着目して、**1**、**2**などの段落の番号を示しながら書いている。

1	◎	条件①、②を満たして解答しているもの
2		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
3		条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

●文章の構成を考える問題【2二】の正答率が、全国平均を約6ポイント下回っていることから、書く能力に課題がある生徒が多いと考えられる。

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9 9	無解答	
4 三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	28.2	4.0	19.8	17.6						28.6	1.8
		35.1	5.3	17.6	15.6						24.7	1.7
		34.8	5.5	16.7	16.5						24.8	1.7

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

① 以下のa, bのいずれかを書いている。

a 「伺う」、「参る」。

b 「ご訪問する」、「お訪ねする」など、状況に合うa以外の言葉。

② 敬語の種類として2を選んでいる。

1	◎	条件①a, ②を満たして解答しているもの	* 「うかがう」、「まいる」と解答しているものも正答とする。
2	◎	条件①b, ②を満たして解答しているもの	
3		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
4		条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
9 9		上記以外の解答	
0		無解答	

●敬語を適切に使う問題【4 三】の正答率が、全国平均を約8ポイント下回っていることから、場に応じたコミュニケーションのとりかたに課題がある生徒が多いと考えられる。

◆分析結果

①説明等、相手に伝わるように表現する力をつけていく必要がある。

②場面に応じた表現（敬語等）に課題がみられる。

◇分析から考えられる手立て

①に関しては、各教科の授業で、意識的に言語活動を取り入れる。ある事象について、説明する、手順や結果を要約してまとめる、実験や実習の手順をわかりやすく伝えるなどの内容（活動）を行う。また、国語科や総合的な学習の時間に、プレゼンテーション、ポスターセッション、パネルディスカッションなどの表現方法についての大枠を学び、自分の考えを整理して、相手に分かりやすく伝える方法を実践する。

②に関しては、例えば職業体験のような、外部の方と接する機会や、人前で発表する機械等、使用が求められる、実践的に使用する必要がある。

また、職員（大人）が適切に敬語を使用している場面を示すことも必要である。

生徒会や委員会活動等で、「言葉遣いを意識する」活動を取り上げるのも、生徒が自ずから意識する良い機会になると考えられる。